



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー
コード番号 5162 URL <https://www.asahi-rubber.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 堀 信幸

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,250	4.0	114	46.0	134	38.4	127	25.5
2023年3月期第3四半期	5,470	3.6	212	18.1	218	17.2	171	15.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 201百万円 (36.8%) 2023年3月期第3四半期 319百万円 (17.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	28.01	
2023年3月期第3四半期	37.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	9,487	5,016	52.9	1,100.12
2023年3月期	9,387	4,889	52.1	1,077.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,016百万円 2023年3月期 4,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		10.00	20.00
2024年3月期		10.00			
2024年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,109	1.3	155	16.3	170	12.7	150	26.1	32.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,618,520 株	2023年3月期	4,618,520 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	58,129 株	2023年3月期	82,157 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,552,382 株	2023年3月期3Q	4,536,363 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。
なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する注記	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは「私たちは人を豊かにしてグローバル社会貢献度が高い技術会社になる」ことを未来に通ずる姿とし、2030年を見据えた「AR-2030VISION」を定めております。当連結会計年度は「AR-2030VISION」の実現に向けて2023年4月からスタートした第14次三カ年中期経営計画の初年度になります。中期経営方針として「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」を掲げ、これまで以上に柔軟かつ好奇心旺盛な思考で行動し、事業活動を通じて様々な方々と一緒に未来につながるカタチをつくってまいります。

当社グループの重点事業分野を「光学事業」、「医療・ライフサイエンス事業」、「機能事業」、「通信事業」の4つとし、事業展開を進めるうえで、独自の競争力の源泉となるコア技術である「色と光のコントロール技術」「素材変性技術」「表面改質およびマイクロ加工技術」に、それぞれの事業分野に成長のキーワードとなる視点を加えて、ゴムが有する無限の可能性をさらに進化させる活動を進めております。また研究開発活動としては、医療・ライフサイエンス事業で応用可能な表面改質材料の開発や新事業のマーケティング活動に注力するとともに、それぞれの分野に長けた研究機関との連携で早期実現化を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、社会経済活動の正常化により流通在庫の適正化が進んだことで、需要は着実に回復してきました。一方、依然として原材料や部材価格の上昇、エネルギー価格の高止まりが続き、事業活動に様々な影響を与えました。この中で当社グループは、当期経営方針に「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」を掲げ、お客様の要望に素早く応える体制を整え、重点事業分野への施策を積極的に展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注は回復傾向であるものの、連結売上高は工業用ゴム事業の販売が減少したことから連結売上高は52億5千万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面においても売上高が減少したことにより、連結営業利益は1億1千4百万円（前年同期比46.0%減）、連結経常利益は1億3千4百万円（前年同期比38.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千7百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車向けで受注は回復傾向にあるものの在庫調整等の影響により、内装照明用光源のASA COLOR LEDなどの売上高が減少しました。一方で、卓球ラケット用ラバーは前連結会計年度から受注増加傾向が続き売上高は増加しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は41億4千2百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。セグメント利益は2億2千6百万円（前年同四半期比36.7%減）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、引き続き診断・治療向けの採血用・薬液混注用ゴム栓や医療用逆止弁などの売上高が増加しました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は11億8百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。セグメント利益は製品の販売構成や試作コストの増加等により8千3百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて1億円増加し、94億8千7百万円となりました。その主な要因は、売却による投資有価証券の減少があったものの、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて2千6百万円減少し、44億7千万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加があったものの、約定返済による1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億2千7百万円増加し、50億1千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

また、当社グループでは各事業の受注状況に基づき、生産能力を検討し設備投資を実施、また新たな事業分野への研究開発投資を積極的に実施しております。その必要資金については財政状態の良化を鑑みながら、主に売上代金及び金融機関からの借入金による調達を基本としております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は19億5千9百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月9日に「2024年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,181	2,385,311
受取手形及び売掛金	1,641,039	1,536,577
電子記録債権	229,346	339,761
商品及び製品	536,606	399,031
仕掛品	360,772	469,822
原材料及び貯蔵品	253,989	241,487
その他	64,933	74,661
貸倒引当金	△1,536	△1,436
流動資産合計	5,073,333	5,445,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,148,747	1,101,576
機械装置及び運搬具（純額）	1,176,732	1,219,676
土地	864,643	864,643
その他（純額）	163,006	168,580
有形固定資産合計	3,353,128	3,354,476
無形固定資産	63,232	65,952
投資その他の資産		
その他	897,777	622,060
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	897,337	621,620
固定資産合計	4,313,698	4,042,048
資産合計	9,387,032	9,487,266
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,830	299,474
電子記録債務	617,069	578,279
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	790,903	740,334
未払法人税等	21,255	19,720
その他	662,543	542,629
流動負債合計	2,367,601	2,480,438
固定負債		
長期借入金	1,111,895	919,024
役員株式給付引当金	16,965	4,355
退職給付に係る負債	978,092	1,044,138
その他	22,618	22,316
固定負債合計	2,129,571	1,989,834
負債合計	4,497,173	4,470,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	465,112	462,350
利益剰余金	3,703,163	3,739,108
自己株式	△54,801	△35,064
株主資本合計	4,630,344	4,683,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,345	70,340
為替換算調整勘定	156,094	236,416
退職給付に係る調整累計額	29,074	26,972
その他の包括利益累計額合計	259,514	333,729
純資産合計	4,889,858	5,016,993
負債純資産合計	9,387,032	9,487,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,470,960	5,250,998
売上原価	4,105,926	4,036,629
売上総利益	1,365,033	1,214,368
販売費及び一般管理費	1,152,981	1,099,831
営業利益	212,051	114,536
営業外収益		
受取利息	282	515
受取配当金	6,497	5,289
保険解約返戻金	4	9,997
雑収入	16,193	15,116
営業外収益合計	22,977	30,918
営業外費用		
支払利息	5,494	5,136
為替差損	8,722	3,388
雑支出	2,706	2,594
営業外費用合計	16,924	11,118
経常利益	218,105	134,336
特別利益		
固定資産売却益	1,035	131
投資有価証券売却益	—	56,930
受取保険金	9,800	—
特別利益合計	10,836	57,062
特別損失		
固定資産売却損	—	80
固定資産除却損	1,824	6,980
投資有価証券売却損	—	10,529
その他	—	2,421
特別損失合計	1,824	20,012
税金等調整前四半期純利益	227,117	171,386
法人税等	55,950	43,853
四半期純利益	171,167	127,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,167	127,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	171,167	127,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,972	△4,005
為替換算調整勘定	131,057	80,321
退職給付に係る調整額	△117	△2,102
その他の包括利益合計	147,913	74,214
四半期包括利益	319,080	201,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,080	201,747

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
日本	3,365,132	750,301	4,115,434
アジア	945,966	312,492	1,258,458
北米	88,558	21	88,580
ヨーロッパ	8,486	—	8,486
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	4,408,144	1,062,815	5,470,960
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,408,144	1,062,815	5,470,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,408,144	1,062,815	5,470,960
セグメント利益	357,313	104,877	462,191

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	462,191
全社費用（注）	△250,139
四半期連結損益計算書の営業利益	212,051

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
日本	3,085,812	788,878	3,874,690
アジア	962,275	318,264	1,280,540
北米	82,974	189	83,164
ヨーロッパ	11,261	1,341	12,603
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	4,142,324	1,108,674	5,250,998
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,142,324	1,108,674	5,250,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,142,324	1,108,674	5,250,998
セグメント利益	226,241	83,832	310,074

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	310,074
全社費用（注）	△195,537
四半期連結損益計算書の営業利益	114,536

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。